

猛暑の中の行進・医療生協・新婦人の仲間も途中から行進！

三木町伊藤町長・糸井議長も激励に深謝！！ カパ 1,240 円

県内行進参加者累計 225 名に、明日の商店街行進が目標達成のカギにぎる

天気予報はうなぎのぼりの 30℃越えの行進となりました。このコースはひたすら長尾街道を南下。歩道が少ないのです。事故が心配・暑さが心配と心配尽くめのコースです。それでも朝、医療生協小池専務が挨拶。小池専務は県内行進のニュースを毎日読んでいるが、行進への期待と歓迎を受けている。このような行進は愚直なまでの行動で、沖縄のように「あきらめない」ことが大事と指摘、そしてこの行動が最後には国連をも動かす大きな世論を形成していくことになる。今日も暑い中の行進となるが、体調に気を配り、事故なくと激励。

#### 三木町での終結集会

伊藤良春新町長は毎年の行進の歴史を重ねて大きな成果があった。しかし世界の動きも急変の様相もあり、行進の行動が世界に広がるようにともに行動しましょうと呼びかけました。また糸井明人議長は 61 年間にわたり、平和行進で三木町を歩いてくれたことにお礼を述べ、自分も戦争体験者として命の大切さを、子どもの頃の映画を思い出せば蘇ると語り、「核のない世界」めざしともに頑張りましょうと激励をいただきました。

多田等さぬき東民商が木田郡原水協を代表して昨年福島県楡葉町を訪問。その楡葉町は危険解除されたが、9,000 人だった町民が 5,000 人に、中でも子どもの帰郷は 600 人が 70 人と激減した。これでは町の未来はなくなると告発し、町のコンビニなどのインフラもなくなった。そうならないよう本気で原爆と原発を無くしたいと決意し、激励への感謝を述べました。



コムコム会館前の出発式



三木町で町長・議長と終結集会